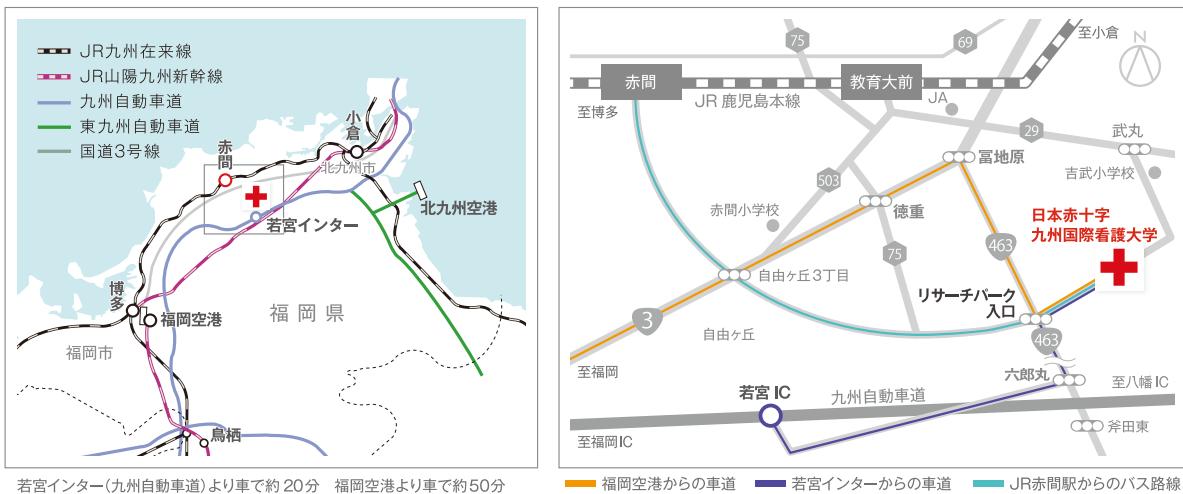


# ACCESS

宗像市の郊外にある自然豊かなキャンパスは、  
生命を尊び、慈しむことの大切さを学ぶにふさわしい  
恵まれた環境にあります。



赤間駅からアクセスが良く、天神から直行バスもあり、快適に通学できます。

## 西鉄バス

天神日銀前から JR 赤間駅南口から  
 直行バス 約 70 min 直行バス 約 15 min  
「日赤看護大学行き」西鉄バスは、校内ゲート棟まで着きます。  
授業の開始・終了に合わせて、天神から1日11便運行されています。  
・西鉄バス「天神日銀前」からの主な経由地  
九州産業大学南口・庄(古賀市)・千鳥パークタウン・イオンモール福津前・王丸など

## JR

JR 博多・小倉駅から JR 博多・小倉駅から本校までのアクセス（JR&西鉄バスで約50分）  
 & 紦 50 min  
博多駅 紦35分 → 赤間駅 紦15分 → 日本赤十字  
九州国際看護大学

JR赤間駅までの所要時間の目安(快速) 遠方からも通学しやすく、福岡市内から通学する学生もたくさんいます。

吉塚	千早	香椎	福工大前	古賀	福間	折尾	黒崎
約 31 min	約 27 min	約 25 min	約 20 min	約 16 min	約 10 min	約 13 min	約 18 min



日本赤十字九州国際看護大学 大学院看護学研究科

〒811-4157 福岡県宗像市アスティ1丁目1番地 <https://www.jrckicn.ac.jp/>  
TEL : 0940-35-7001 FAX : 0940-35-7021



ひとりを見る目、その目を世界へ



日本赤十字九州国際看護大学  
大学院 看護学研究科

GUIDE BOOK 2020

JAPANESE RED CROSS KYUSHU  
INTERNATIONAL COLLEGE OF NURSING  
GRADUATE SCHOOL OF NURSING



## 大学院は、あなたの看護キャリアの発展を支援します！

日本赤十字九州国際看護大学では、平成19(2007)年4月に大学院看護学研究科修士課程を開設以来、赤十字の人道の理念を基調としたカリキュラムにより、超高齢社会、グローバル社会における人々の多様な生活や価値観、健康ニーズに対応するための高度な看護を追究し、新たな看護学の知を創造してきました。また、平成28(2016)年からは、赤十字5大学と共同で博士課程を開設し、独創性が高く社会的意義の大きな研究の指導に取り組み、平成31(2019)年3月に博士(看護学)の学位取得者を送り出しました。

大学院での学びのスタートである修士課程修了者は、これまでに78人になりました。修了生たちの多くは現在、臨床や地域のリーダーとして社会に貢献していますし、中には大学教員として後輩の指導に活躍している者もいます。いずれの修了生たちも大学院では単に修士の学位を得るというだけでなく、その学修過程で論理的な思考力を高め、生じている看護現象を説明する言葉を獲得することによって、リーダーの資質を身につけたと言えます。また、修了生たちの実際の言葉からは、年代も経験も異なる院生や教員との討議を通じて、“新たな自分を見つける”し、“これまでにない揺さぶられる感覚”を体験するなど、自己の内面を磨いている様子がわかります。

昨年には、大学院生室を図書館に近く、明るい空間に改装しました。休憩しながら議論するにはうってつけの空中庭園も隣接しています。大学院は皆さんの将来の可能性を大きく拓げるものです。キャリアを発展させたいとお考えの方、ぜひ本学大学院とともに学びあい、研鑽を積まれるよう心から願っております。

日本赤十字九州国際看護大学 学長 田村 やよひ



### ■ CONTENTS

P01 学長メッセージ	P10 研究論文発表会	P17 修了生コメント
P03 治革・大学院ミッション	P11 授業科目一覧	P18 在校生コメント
P05 研究科長メッセージ	P12 修士論文タイトル	P18 科目等履修生・お試し受講・入試相談会
P06 修士課程/特色・履修の流れ	P13 共同看護学専攻/博士課程	P19 施設紹介
P07 コース紹介	P15 サポート体制	P21 入試情報
P10 研究指導体制	P16 教育課程等の概要	

# HISTORY

日本赤十字九州国際看護大学は、学校法人日本赤十字学園の第4番目の看護学部看護学科として九州地区に開設されました。2007年4月に大学院を開設、2010年4月には大学院での助産教育を開始しました。更に、2016年4月には5つの赤十字看護大学との共同で、共同看護学専攻博士課程を開設しました。

## 沿革

- 2001年 4月 日本赤十字九州国際看護大学 開学  
2006年 6月 大学院設置認可申請書を文部科学大臣に提出  
2006年11月 文部科学大臣から大学院設置の認可を受ける  
2007年 4月 日本赤十字九州国際看護大学大学院看護学研究科 開設  
2009年 3月 財団法人大学基準協会における大学評価の結果、  
大学基準に適合していると認定される  
※認定期間は2016年3月31日まで  
2009年 6月 大学院看護学研究科看護学専攻「助産師学校」指定申請書を  
文部科学大臣に提出、受理される  
2009年10月 文部科学大臣から大学院看護学研究科看護学専攻  
(助産コース)開設の認可を受ける  
2010年 4月 大学院看護学研究科看護学専攻(助産コース) 開設  
2015年 3月 大学院共同看護学専攻博士課程設置認可申請書を  
文部科学大臣に提出  
2015年 8月 文部科学大臣から大学院共同看護学専攻博士課程設置の  
認可を受ける  
2016年 3月 公益財団法人大学基準協会における大学評価の結果、  
大学基準に適合していると認定される  
※認定期間は2023年3月31日まで  
2016年 4月 大学院看護学研究科共同看護学専攻博士課程 開設  
2017年 4月 大学院看護学研究科看護学専攻(CNSコース) 開設  
2018年 4月 大学院講義室・研究室 新設



# MISSION

## 『教育理念』

人間の尊厳を基調として、多様な健康ニーズに対応できる高度な専門性を追究することを教育理念としています。

## 『大学院の目的』

本学修士課程は、建学の精神である赤十字の理想とする人道的任務の達成を図るため、看護に関する学術の中心として、広く看護の実践と教育・研究に関する理論と専門技術を教授研究し、深い学識及び卓越した感性と人間性を備えた高度な看護専門職の育成を図り、看護学の発展とともに世界の人々の健康と福祉の向上と豊かな生活の創造に寄与することを目的としています。

## 『教育目標』

赤十字の人道の理念を基調に、多様な健康ニーズを学際的に研究し、国内外の保健・医療・福祉に関連した社会的ニーズに対応する理論と技術を創出・実践する看護分野の専門家を育成することを教育目標としています。

## 『アドミッションポリシー』

- 本学修士課程はこのような人を求めています。
- ・人間の尊厳と権利を擁護する倫理観を有する人
  - ・基礎学力と専攻領域の基礎的知識を身につけている人
  - ・看護・保健専門職として研究する基礎的能力を有する人
  - ・主体的に国内外の健康問題について学び、多職種と協働して社会に貢献する態度を有する人

## 『カリキュラムポリシー』

日本赤十字九州国際看護大学大学院看護学研究科修士課程は、その掲げる教育理念および教育目的・目標を達成するために研究・教育者を目指す「保健コース」と「看護コース」、高度実践看護師を目指す「CNSコース」、助産師国家試験受験資格取得を目指す「助産教育コース」を設置し、保健学・看護学の研究者、教育者、実践者の養成を目指しています。修士課程の教育目標を達成するために以下の方針に基づき教育課程を編成し、実施します。

### 【修士(保健学)】

1. 人間の尊厳と権利を擁護する倫理観をそなえた保健専門職として課題を探究するために、学習の基盤となる共通科目を置いています。
2. 多様でグローバルな健康課題を学際的な視点から捉え、各領域における専門性の発展・深化を目指すために専門科目を置いています。
3. 保健学の発展に貢献する研究に取り組むために、様々な研究方法を段階的・構造的に学べる研究科目を置き、科目間で連携を図りながら授業を運営します。
4. 保健専門職として研究の成果を社会に還元するために特別研究を課しています。
5. 研究者・教育者を目指す者、高度実践看護師を目指す者、助産師国家試験受験資格取得を目指す者という多様な目的を有する学修者が領域を横断して学問を探求できるよう合同で演習を実施します。
6. 専門領域を超えて、リベラルアーツ、保健医学系の教員による総合的な研究指導体制をとることで大学院生の自律的・学際的な学びを支援します。

### 【修士(看護学)】

1. 人間の尊厳と権利を擁護する倫理観をそなえた看護専門職として課題を探究するために、学習の基盤となる共通科目を置いています。
2. 多様でグローバルな健康課題を学際的な視点から捉え、各領域における専門性の発展・深化を目指すために専門科目を置いています。
3. 看護学の発展に貢献する研究に取り組むために、様々な研究方法を段階的・構造的に学べる研究科目を置き、科目間で連携を図りながら授業を運営します。
4. 看護専門職として研究の成果を社会に還元するために特別研究を課しています。
5. 研究者・教育者を目指す者、高度実践看護師を目指す者、助産師国家試験受験資格取得を目指す者という多様な目的を有する学修者が領域を横断して学問を探求できるよう合同で演習を実施します。
6. 看護の専門領域を超えて、リベラルアーツ、保健医学系の教員による総合的な研究指導体制をとることで大学院生の自律的・学際的な学びを支援します。

「CNSコース」は【修士(看護学)】の1~6に加え、以下の教育課程を編成し、実施します。

7. 卓越した看護実践能力を育成するために、それぞれの専門看護師資格認定に必要な科目を置いています。
8. 専門看護分野のケアの質改善に向けた課題を探究するために、文献クリティック演習および課題研究を課しています。

「助産教育コース」は【修士(看護学)】の1~6に加え、以下の教育課程を編成し、実施します。

9. 妊娠・分娩・産褥・新生児期が安全に経過するための実践能力を育成するために、助産師国家試験受験資格取得に必要な科目を置いています。
10. 助産分野の実践現場における課題を探究するために、文献クリティック演習および課題研究を課しています。

# 看護学専攻 修士課程

Graduate School of Nursing

## 新たな知の創造に向けて 学問を究める

日本赤十字九州国際看護大学 大学院  
研究科長 本田 多美枝 教授



日本赤十字九州国際看護大学大学院看護学研究科は、平成31年3月に初めての博士課程の修了生を社会に送り出し、研究科としても新たな一步を踏み出すことができました。教職員一同、大変うれしく思っています。

本学の博士課程は、九州・広島・豊田・秋田・北海道の全国にある5つの赤十字看護大学による共同看護学専攻として、平成28年4月に開設されました。博士課程の授業や研究指導は、協力校である日本赤十字看護大学での集合教育と、双方向のTV会議システムを使った遠隔授業によって行われています。それぞれの大学の強みを活かした指導体制やカリキュラムを提供していることに大きな特色があり、博士課程そのものが「知の共同体」として進化し続けています。

修士課程は、平成19年4月の開設以来、保健学および看護学コースを有する数少ない大学院として、これまでに78名の修了生を輩出してきました。平成29年4月からはクリティカルケア看護および在宅看護領域の専門看護師(CNS)教育を新たにスタートさせるとともに、保健学・看護学・CNS・助産教育の4つのコースに、7つの専門領域を配置した特色あるカリキュラムへと大きな改正を行いました。これにより、大学

院生それぞれの専門性と将来像を見据えた選択が可能になったのではないかと思います。

また、本学修士課程で学ぶ大学院生は、年代や専門領域、働いている場など実に多様です。この多様性の中から、新たな発想が生まれています。本学では、専門領域の知見を深める科目はもとより、領域横断型の科目を複数設定し、多様な観点からものごとを捉えることを重視したカリキュラムを編成しています。研究方法に関する科目を基本から応用へと段階的に編成していることも大きな特徴です。これにより、大学院生の皆さんは、自身の実践活動のなかで抱いた疑問をあらゆる角度から吟味し、答えを探求していくための学問的方法論を体系的に学ぶことができます。さらに修士論文の作成に向けては、指導教員による継続的なナゼミに加えて、多領域の教員や大学院生間で意見交換できる場を複数設定していることも皆さんの助けになるはずです。

大学院で学ぶ成果は、学習の主体である大学院生の皆さんが、何をどのように学ぶかにかかっています。既成概念にとらわれず、学友や教員との議論をおおいに楽しみ、新たな知の創造に果敢に挑み続けてほしいと願っています。本学は全力で大学院生の皆さんを支援します。

## 修士 | 学位取得のための4つのコース、7つの専攻領域

コース	保健コース	看護コース		CNSコース		助産教育コース	
学位	修士(保健学)	修士(看護学)					
領域	国際保健	生涯発達看護	広域看護	基盤看護	クリティカルケア看護	在宅看護	助産教育
	・災害/国際協力 ・ヘルスプロモーション	・成育看護 ・成人看護(慢性) ・老年看護 ・在宅ケア	・クリティカルケア ・メンタルヘルスケア ・看護倫理	・看護管理 ・看護教育			

## 研究科修士課程の特色

### 研究方法を強化した共通科目の特色

本学の共通科目の特色として、研究方法(研究方法総論)、研究方法A-I(量的研究方法の基礎)、研究方法B-I(質的研究方法の基礎)、研究方法A-II(量的研究方法)、研究方法B-II(質的研究方法)といった研究方法を学ぶ科目が多くあります。質的研究と量的研究に対するきめ細やかな指導を行い、大学院生の研究能力向上を支援します。

### 充実した研究環境

共同研究室には、大学院生一人ひとりが研究活動に専念できるように、専用のデスク、パソコンが準備されています。その他、SPSS搭載のノートパソコンも貸与しています。全館Wi-Fi対応で、いつでもどこでもインターネットや文献収集に必要な医療系データベースに接続できます。一部のデータベースは、学外からのアクセスも可能です。また、ラーニング・コモンズには、プロジェクト等の機材を配備し、研究発表の練習や他領域の大学院生とのディスカッションなど新たな協同学習の場も整えています。

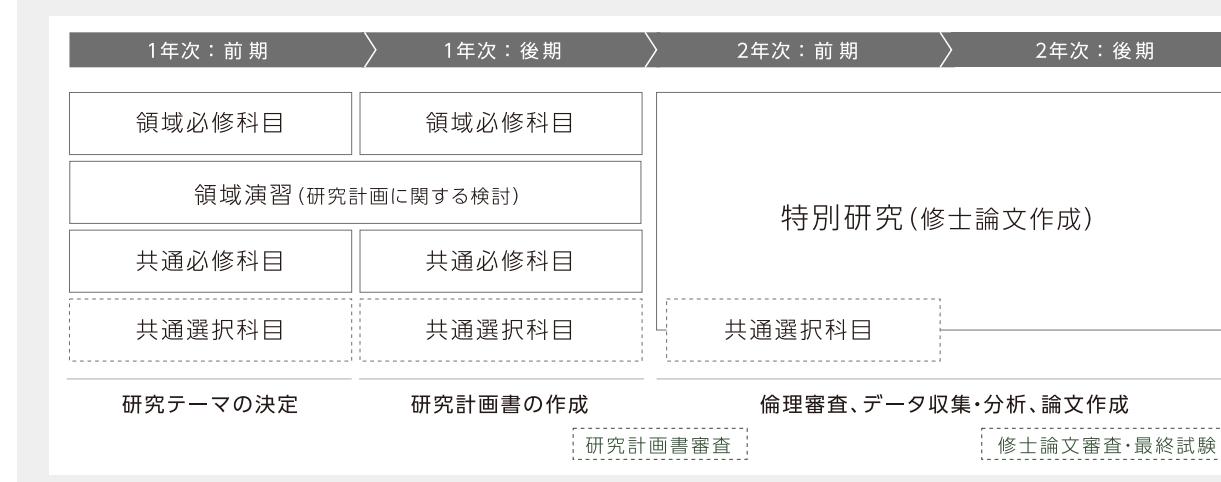
### 社会人への配慮の特徴

金曜日と土曜日に授業が集中(CNSコース除く)しているため、1年間で大半の科目履修ができます。2年目は、修士論文を作成するため多くの時間をとることができます。なお、大学院入学前に、本学大学院で科目等履修生として修得した単位は、大学院入学後の修得単位として10単位まで認められます。このように、社会人が働きながら本学で修士号を取得しやすいようにきめ細やかな対応をしています。

### 垣根を越えた指導体制

一つの領域は専門性豊かな複数の分野で構成されています。たとえば、成育看護、成人看護(慢性)、老年看護は独立した専門分野ですが、この3分野は生涯発達看護という領域に位置付けられています。一見、専門性が違う分野であっても、生涯発達という時間的経過でとらえなおおと対象の健康問題を包括的にとらえることができます。さらに、領域の垣根を越えた指導体制としては、研究方法(研究方法総論)を受講した大学院生は、領域の違いを越えて、論文をクリエイティブする方法を合同演習で学びます。

## 入学から修了までの履修の流れ ①標準課程



## 入学から修了までの履修の流れ ②長期履修課程



3年間で履修する課程です。職業を持っている人などは、ゆとりをもって着実に履修できます。

1年次、もしくは2年次に研究計画書の審査を経て、3年次に修士論文の審査と最終試験に合格後、修士の学位が授与されます。長期履修制度は、入学時に申請が必要です。履修年限の短縮申請は、在学中1回のみ認められます。※長期履修制度を利用した場合においても、総納付金額は通常の2年コースと同様です。

## 保健コース

### 国際保健領域

健康は国際社会の共通の課題です。国内外での大規模な災害の多発、貧困、健康格差、高齢化の全世界的進行など、健康を脅かす要因は複雑・多様化しています。地域で暮らす人々が安全・安心かつ健康な生活を営むためには学問分野を統合した教育・研究が必要です。本領域では、災害・国際協力とヘルスプロモーションの分野が協働し、国際保健領域の課題を多角的・構造的に探究し、個人・集団の健康と生活支援の実践計画策定の指導を行います。もって、国内外を問わず個人・集団の健康と安全に貢献できる、高い専門性と実践力を備えた人材の育成をめざします。



#### 分野

分野	分野の特徴	担当教員
災害・国際協力	災害、貧困、健康格差など問題は国内外を問わず頻発しており、人々の健康や生活に影響を及ぼしています。本分野では、このような問題を様々な観点から深く洞察し、看護の役割について探究します。	小川 里美 教授
ヘルスプロモーション	高齢化の世界的な進行は、個人の健康増進を集団的にサポートするヘルスプロモーションを必要としています。コミュニティを地域社会、職場など広くとらえ、一人ひとりのライフスタイルを考慮した健康生活支援について探究します。	守山 正樹 教授 緒方 文子 准教授

**研究指導テーマ** ※出願を希望する方は、出願前に志望する専攻領域の教員にメールでご連絡ください。

小川 里美 教授

s-oogawa@jrckicn.ac.jp

- ・国際協力における人材育成に関する研究
- ・紛争被災国における看護教育、看護政策に関する研究
- ・災害看護に関する研究

緒方 文子 准教授

a-ogata@jrckicn.ac.jp

- ・連続夜勤者の疲労・ストレス・眠気に関する研究
- ・労働者のメタボリックシンドローム発症に関する研究
- ・アスベスト曝露者の不安に関する研究

## 看護コース

### 生涯発達看護領域

国際化を含む生活様式の多様化は人の一生に新たな課題を生じさせているため、そうした課題に取り組む人材の育成が必要です。本領域は、成育看護、成人看護(慢性)、老年看護の3つの分野で構成され、発達段階における特徴的な健康問題を専門的に探究するとともに、グローバルな保健分野の問題をも探究できる人材の育成をめざします。



#### 分野

分野	分野の特徴	担当教員
成育看護	子どもの成長・発達段階を踏まえて、子どもと親、家族、地域との関係をネットワークという視点を通して学びます。小児医療を取り巻く環境の変化および多職種連携について最新の知見について探究します。助産師国家資格を取得後にも、性と生殖に関する発達課題を学び、その健康・権利を守る援助と親役割獲得のための支援について探究します。	大重 育美 教授 永松 美雪 教授
成人看護(慢性)	現代の健康問題の多くは慢性疾患との関連が深く、医療の進歩や高齢化によって問題は複雑化しています。予防からエンド・オブ・ライフケアまでの長期的視点および国内外の最新の知見に基づき、慢性期にある人の健康問題の本質と解決策を探究します。	中村 光江 教授
老年看護	国内外の諸理論を通して老年看護の場で生じる現象への理解を深め、生活モデルを通して老年看護の可能性や本質を探査します。また、高齢者やその家族が健康的で質の高い生活を送るために看護援助について探究します。	姫野 深子 教授 原田 紀美枝 准教授

**研究指導テーマ** ※出願を希望する方は、出願前に志望する専攻領域の教員にメールでご連絡ください。

大重 育美 教授

永松 美雪 教授

中村 光江 教授

姫野 深子 教授

- ・子育て・孫育てに関する研究
  - ・子どもの事故防止に関する研究  
(子どもの姿勢、定型など)
  - ・看護師・看護学生の疲労度・睡眠障害に関する研究
- ・親子関係、育児支援、虐待予防に関する研究
  - ・慢性病とともに生きる人への看護に関する研究  
(当事者経験の探求と理解、療養のための行動変容など)
  - ・男女間暴力・性暴力被害に関する研究
  - ・慢性病を持つ人へのエンド・オブ・ライフケアおよび緩和ケアに関する研究(倫理的課題、意思決定支援を含む)
  - ・看護事例研究、看護の実践知に関する研究、ナラティブ・アプローチや現象学に基づく看護現象の記述方法の探求

## 看護コース

### 広域看護領域

誰でもが遭遇しうる多様な健康の課題を、クリティカルケア、メンタルヘルスケアおよび在宅ケアという異なる切り口から探究し、今後の課題に対して、専門的かつグローバルに関与できる人材の育成をめざします。本領域は、クリティカルケア、メンタルヘルスケア、在宅ケアの3つの分野から構成されます。



#### 分野

分野	分野の特徴	担当教員
クリティカルケア	クリティカルな状況にある患者やその家族に対する看護について、国内外の知見の系統的分析と、関連する諸理論や概念を用い、クリティカルケアの専門性について探究します。	
メンタルヘルスケア	施設内外を問わず、健康問題を抱える対象者やケアを提供する看護師のメンタルヘルスに関する課題解決を探究します。グローバル化時代に対応するための新たな看護支援を探究します。	高橋 清美 教授 石飛 マリコ 准教授
在宅ケア	在宅ケアを取り巻く社会的な背景や政策的な方針を踏まえた上で、在宅ケアにおける課題について探究します。また、活用できる概念や諸理論、研究動向から在宅看護の専門性について探究します。	西村 和美 准教授

**研究指導テーマ** ※出願を希望する方は、出願前に志望する専攻領域の教員にメールでご連絡ください。

高橋 清美 教授

k-takahashi@jrckicn.ac.jp

- ・精神障がい者の食支援に関する研究
- ・気分障害への支援に関する研究
- ・地域で暮らす精神障害者への支援に関する研究

西村 和美 准教授

k-nishimura@jrckicn.ac.jp

- ・在宅での排泄ケア(外来看護を含む)に関する研究
- ・認知症や神経難病を有するひとの家族介護者支援に関する研究
- ・在宅におけるエンドオブライフ・ケアに関する研究

## 看護コース

### 基盤看護領域

技術的に著しく進歩した医療の中でも、「人を見る」という看護の本質は不变です。しかし、グローバル化した世界では、ものや情報は激しく交流し、人のライフスタイルも激変します。本領域では、このような社会の変化を視野に入れて、時代に応じた質の高い看護を個人・組織・専門職集団レベルで提供していくために必須となる組織マネジメントや看護政策、人材育成の方法論、看護倫理について、多角的、専門的に探究します。本領域は、看護管理、看護教育、看護倫理の3つの分野から構成され、看護実践の基盤構築に貢献できる看護実践者・看護教育者・看護管理者の育成をめざします。



#### 分野

分野	分野の特徴	担当教員
看護管理	看護管理の中核的役割を担う人材を育成するために、医療・看護提供システムや看護政策、組織マネジメントに関する諸理論、方法論を探究します。また、マネジメント上の課題を多角的に分析することで、課題解決に向けた方策を探究します。	倉岡 有美子 教授 田村 やよひ 学長
看護教育	看護基礎教育・看護継続教育を担う人材を育成するために、看護専門職実践の特徴を踏まえた人材開発の諸理論・方法論を探究します。また、これらの知見をもとに教育・学習活動の実践例を考察し、課題解決に向けた方策を探究します。	本田 多美枝 教授 阿部 オリエ 准教授
看護倫理	さまざまな看護の場で、個々人の立場・背景による価値の違いによって倫理的問題(ジレンマ、課題等)が生じています。自らの感受性を高めながら、諸理論や分析方法を通して問題の本質と解決策を探究していきます。	柳井 圭子 教授

**研究指導テーマ** ※出願を希望する方は、出願前に志望する専攻領域の教員にメールでご連絡ください。

倉岡 有美子 教授

y-kuraoka@jrckicn.ac.jp

- ・看護管理者の能力開発に関する研究
- ・看護職の人材開発に関する研究  
(看護学生、新人からベテランまでの各期の特性に応じた生涯学習支援、教育方法の開発など)
- ・看護組織の変革、看護管理者のリーダーシップに関する研究
- ・看護倫理に関する研究  
(リフレクション、ナラティブライトアプローチなどを活用した看護職の実践力開発・熟達化に関する研究)
- ・看護管理と倫理に関する研究  
(高齢者の胃瘻造設に関する意思決定支援を含む)

本田 多美枝 教授

t-honda@jrckicn.ac.jp

- ・看護に関する法制度研究  
(看護師の責任論、実務拡大への戦略的取り組み等)
- ・看護の倫理的問題に関する研究  
(生・性から死に至る倫理的葛藤と倫理的課題克服)
- ・暴力・虐待等の防止に向けた看護実践に関する研究
- ・看護・看護教育の現象解明・概念化に向けた研究

柳井 圭子 教授

k-yanai@jrckicn.ac.jp

- ・看護に関する法制度研究  
(看護師の責任論、実務拡大への戦略的取り組み等)
- ・看護の倫理的問題に関する研究  
(生・性から死に至る倫理的葛藤と倫理的課題克服)
- ・暴力・虐待等の防止に向けた看護実践に関する研究
- ・看護・看護教育の現象解明・概念化に向けた研究

## 助産教育コース

## 助産教育領域

社会的要請に対応できる助産師としての専門的基礎的能力に加え、幅広い視野と科学的洞察力を持った、新たな助産のあり方を探求できる人材の育成を目指します。また、専門的知識の習得とともに母子保健分野における課題探究能力を備えた専門職および研究者を育成します。さらに国内外を問わず、女性および母子の健康問題に対して多角的な視点で考えることのできる資質を涵養します。



領域	領域の特徴	担当教員
助産教育	人の一生における性と生殖をめぐる健康・権利を守る援助を探求します。また、妊娠・分娩・産褥・新生児期における根拠に基づく助産ケアを学びます。さらに、助産管理の視点を持ち、地域の社会資源の活用や多職種との連携を目指します。必要な科目を履修し、単位を修得することで、助産師国家試験受験資格が得られます。	永松 美雪 教授 吉永 宗義 教授 石山 さゆり 准教授

**研究指導テーマ** ※出願を希望する方は、出願前に志望する専攻領域の教員にメールでご連絡ください。

永松 美雪 教授

[m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp](mailto:m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp)

- ・親子関係、育児支援、虐待予防に関する研究
- ・男女間暴力・性暴力被害に関する研究
- ・望まない妊娠・性感染症に関する研究

石山 さゆり 准教授

[s-ishiyama@jrckicn.ac.jp](mailto:s-ishiyama@jrckicn.ac.jp)

- ・カオス・複雑系の視点を用いた看護に関する研究
- ・胎児期からのこどもの発達に関する研究
- ・親子関係の発達に関する研究

## CNSコース

## クリティカルケア看護領域

本大学院は、「クリティカルケア看護」の専門看護分野について、日本看護系大学協議会から高度実践看護師教育課程（専門看護師教育課程 38単位）として認定されています。本コースでは、保健・医療・福祉現場において、複雑な健康問題を有する患者にケアとキュアを統合し、卓越した直接的ケアを提供するとともに、相談、調整、倫理調整、教育、研究を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践を向上させる高度実践看護師の育成をめざします。

領域	領域の特徴
クリティカルケア看護	本領域は、クリティカルケア看護専門看護師の育成をめざします。クリティカルケア看護専門看護師は、対象のQOLの向上を目的として、個人、家族、および集団に対して、ケアとキュアの統合による高度な看護学の知識・技術を駆使して、疾病的予防および治療・療養・生活過程の全般を統合・管理し、卓越した看護ケアを提供するものです。その役割は、専門性を基盤とした高度な実践、看護職を含むケア提供者に対する教育や相談、研究、保健医療福祉チーム内の調整、倫理的課題の調整です。また、総合的な判断力と組織的な問題解決力をもってクリティカルケア看護領域における新しい課題に挑戦し、現場のみならず教育や政策への課題にも反映できる開発的役割がとれる変革推進者として機能します。

## CNSコース

## 在宅看護領域

本大学院は、「在宅看護」の専門看護分野について、日本看護系大学協議会から高度実践看護師教育課程（専門看護師教育課程 38単位）として認定されています。本コースでは、保健・医療・福祉現場において、複雑な健康問題を有する患者にケアとキュアを統合し、卓越した直接的ケアを提供するとともに、相談、調整、倫理調整、教育、研究を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践を向上させる高度実践看護師の育成をめざします。

領域	領域の特徴
在宅看護	本領域は、在宅看護専門看護師の育成をめざします。在宅看護専門看護師は、対象のQOLの向上を目的として、個人、家族、および集団に対して、ケアとキュアの統合による高度な看護学の知識・技術を駆使して、疾病的予防および治療・療養・生活過程の全般を統合・管理し、卓越した看護ケアを提供するものです。その役割は、専門性を基盤とした高度な実践、看護職を含むケア提供者に対する教育や相談、研究、保健医療福祉チーム内の調整、倫理的課題の調整です。また、総合的な判断力と組織的な問題解決力をもって在宅看護領域における新しい課題に挑戦し、現場のみならず教育や政策への課題にも反映できる開発的役割がとれる変革推進者として機能します。



## 研究指導体制

研究指導は、1名の研究指導教員と1名以上の研究指導補助教員の計2名以上で行います。

研究指導教員と研究指導補助教員は、修士論文の作成に至るまで一貫した研究指導を行います。

本大学院での研究指導においては、総合研究指導体制を採用しています。

これは、大学院生の研究指導において専門分野の主たる指導教員に加えて、領域を横断して研究指導を受けることができる体制をとります。これにより、大学院生は、専門領域の研究をすすめながら、領域を超えた視点や論点から、自分の研究を検討し、さらなる進展を図ることが可能になります。

## リベラルアーツ・専門基礎教員／研究テーマ

鈴木 清史 教授

・看護と保健医療をめぐる文化人類学的研究

高瀬 文広 教授

・メディカルスタッフや患者を対象とした対人コミュニケーションや異文化コミュニケーションの研究

力武 由美 准教授

・暴力・健康・セクシュアリティ(LGBT)に関する国際比較ジェンダー研究



## 研究論文発表会

### 修士論文発表会

平成31年3月1日(金)

平成30年度

修士論文発表会を開催しました。



### 研究計画発表会

平成31年2月22日(金)

平成30年度

研究計画発表会を開催しました。



大学院に入学して約1年となります。この1年間で多くの先生方にご指導いただき、合同研究計画相談会を経て、研究計画発表会当日を迎えることができました。

研究計画発表までの道のりは、困難の連続でした。自分が疑問に思うことを研究課題につなげる段階からつまずき、自分の考えが表現できずになりました。時間を割いてご指導いただいている先生方に、成果として表現できない自分自身にもどかしさを感じていました。しかし、多くの文献を読み、先生方からご指導いただき、研究計画書という形になった時、嬉しさと満足感がこみ上げてきました。

研究計画発表会で、さらに他領域からの先生方からご助言をいただきました。これらの貴重なご助言を活かして研究に取り組んでいます。

今後も多くのことを学び、一皮むけた自分になれることを信じて、研究を進めたいと思います。

## 授業科目一覧

区分		授業科目	単位数	時間数	履修方法及び修了要件①	履修方法及び修了要件②		履修年次及び単位数	
専門科目	保健コース	国際保健	2	30	専攻領域必修12単位	必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		○災害・国際協力 ○ヘルスプロモーション	2	30		必修	選択	必修	選択
専門科目	看護コース	生涯発達看護	2	30	専攻領域必修12単位	必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		○成育看護 ○成人看護(慢性) ○老年看護	2	30		必修	選択	必修	選択
専門科目	看護コース	広域看護	2	30	専攻領域必修12単位	必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		○クリティカルケア ○メンタルヘルスケア ○在宅ケア	2	30		必修	選択	必修	選択
専門科目	CNSコース	基盤看護	2	30	専攻領域必修12単位	必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		○看護管理 ○看護教育 ○看護倫理	2	30		必修	選択	必修	選択
専門科目	CNSコース	クリティカルケア看護特論I	2	30	専攻領域必修24単位	必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		クリティカルケア看護特論II	2	30		必修	選択	必修	選択
専門科目	CNSコース	クリティカルケア看護特論III	2	30		必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		クリティカルケア看護演習I	2	60		必修	選択	必修	選択
専門科目	CNSコース	クリティカルケア看護演習II	2	60	専攻領域必修24単位	必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		クリティカルケア看護演習III	2	60		必修	選択	必修	選択
専門科目	CNSコース	クリティカルケア看護演習IV	2	60		必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		クリティカルケア看護実習I	5	225		必修	選択	必修	選択
専門科目	CNSコース	クリティカルケア看護実習II	5	225		必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		在宅看護学特論I	2	30	専攻領域必修24単位	必修	選択	CNSコース	助産教育コース
専門科目	CNSコース	在宅看護学特論II	2	30		必修	選択	必修	選択
		在宅看護学特論III	2	30		必修	選択	必修	選択
専門科目	CNSコース	在宅看護学特論IV	2	30		必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		在宅看護学特論V	2	30		必修	選択	必修	選択
専門科目	助産教育コース	在宅看護学演習I	2	60	専攻領域必修34単位	必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		在宅看護学演習II	2	60		必修	選択	必修	選択
専門科目	助産教育コース	在宅看護学演習III	2	90		必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		在宅看護学演習IV	3	135		必修	選択	必修	選択
専門科目	助産教育コース	在宅看護学演習V	3	135		必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		在宅看護学演習VI	2	90		必修	選択	必修	選択
専門科目	助産教育コース	助産学総論	1	30	専攻領域必修34単位	必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		ウイメンズヘルスI	1	15		必修	選択	必修	選択
専門科目	助産教育コース	ウイメンズヘルスII	2	30		必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		リブロダクティブ・ヘルス	2	30		必修	選択	必修	選択
専門科目	助産教育コース	女性のフィジカルアセスメント	1	15	専攻領域必修34単位	必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		妊娠期のアセスメントとケア	2	30		必修	選択	必修	選択
専門科目	助産教育コース	分娩期のアセスメントとケア	2	30		必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		産褥期・新生児のアセスメントとケア	2	30		必修	選択	必修	選択
専門科目	助産教育コース	周産期学(正常編)	1	15	専攻領域必修34単位	必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		周産期学(異常編)	1	15		必修	選択	必修	選択
専門科目	助産教育コース	新生児学	2	30	専攻領域必修34単位	必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		助産と薬理	1	15		必修	選択	必修	選択
専門科目	助産教育コース	地域母子保健	1	15	専攻領域必修34単位	必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		助産経営管理学	2	30		必修	選択	必修	選択
専門科目	助産教育コース	フィールドワーク演習	2	30	専攻領域必修34単位	必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		助産基礎実習	8	360		必修	選択	必修	選択
専門科目	助産教育コース	助産所実習	2	90	専攻領域必修34単位	必修	選択	CNSコース	助産教育コース
		新生児集中ケア基礎実習	1	45		必修	選択	必修	選択
共通科目		保健・看護総合特論	1	15	〔保健コース/看護コース〕必修8単位 選択○印科目と専攻領域以外の保健コース・看護コースの特論I(2単位以上)をあわせて10単位以上	●	○	1	
		看護理論	2	30		●	○	2	
共通科目		看護倫理	1	15	〔保健コース/看護コース〕必修8単位 選択○印科目と専攻領域以外の保健コース・看護コースの特論I(2単位以上)をあわせて10単位以上	●	○	1	
		グローバルヘルス	1	15		●	○	1	
共通科目		専門外国語講読I	1	15	〔保健コース/看護コース〕必修8単位 選択○印科目と専攻領域以外の保健コース・看護コースの特論I(2単位以上)をあわせて10単位以上	●	○	1	
		研究方法(研究方法総論)	2	30		●	●	2	
共通科目		研究方法A-I(質的研究方法の基礎)	1	15	〔CNSコース〕必修12単位 選択○印科目の中から6単位以上	○	○	1	
		研究方法B-I(質的研究方法の基礎)	1	15		○	○	1	
共通科目		研究方法A-II(量的研究方法)	1	15	〔CNSコース〕必修12単位 選択○印科目の中から6単位以上	○	○	1	
		研究方法B-II(量的研究方法)	1	15		○	○	1	
共通科目		看護教育論	2	30	〔助産教育コース〕必修11単位 選択○印科目の中から13単位以上	○	○	2	
		看護管理論	2	30		○	○	1	
共通科目		看護政策論	1	15	〔助産教育コース〕必修11単位 選択○印科目の中から13単位以上	○	○	1	
		専門外国語講読II	2	30		○	○	2	
共通科目		フィジカルアセスメント特論	2	30	〔助産教育コース〕必修11単位 選択○印科目の中から13単位以上	○	●	2	
		病態生理学特論	2	30		○	●	2	
共通科目		臨床薬理	2	30	〔助産教育コース〕必修11単位 選択○印科目の中から13単位以上	○	○	1	
		コンサルテーションI	1	15		○	○	1	
共通科目		コンサルテーションII	1	15	〔助産教育コース〕必修11単位 選択○印科目の中から13単位以上	○	○	1	
		専門実習I	2	90		○	●	2	
共通科目		専門実習II	2	90	〔助産教育コース〕必修11単位 選択○印科目の中から13単位以上	○	●	2	
		文献クリティック演習	2	60		○	●	2	
共通科目		課題研究	2	60		○	●	2	
					[保健コース]30単位以上 [看護コース]30単位以上 [CNSコース]42単位以上 [助産教育コース]58単位以上	</			

# 共同看護学専攻 博士課程

Graduate School of Nursing

養成をめざす  
研究者・実践者の  
アプローチできる  
看護現象へ  
あらゆる

5

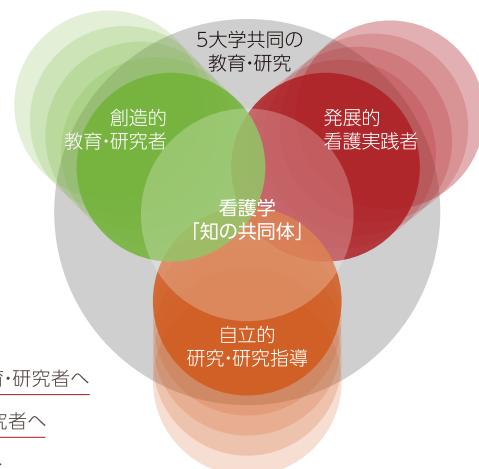
つの大学は  
看護学の  
「知の共同体」

高い専門性で社会貢献

理論や実践方法の創造ができる教育・研究者へ

自立した研究・研究指導ができる研究者へ

発展的に看護を実践できる実践者へ



## 設置の趣旨・特色

### ■ 特色

- 学位は、共同教育課程を構成する5大学の連名により、授与されます。
- 学生は、主指導教員が在籍する大学に学籍を置くことになります。
- 学生は、5大学の施設等を利用することができます。
- 学生は、学籍を置く大学以外の大学の副指導教員からも、研究指導が受けられます。
- メディアを利用した遠隔授業により、各大学で開講する講義を、学籍を置く大学から受講することができます。

## 共同看護学専攻（博士課程）の教育理念等

### 理念

#### 赤十字の理念である「人道(Humanity)」の実現

共同看護学専攻の理念は、赤十字の理念である「人道(Humanity)」の実現を目指し、いかなる場合でも一人ひとりの尊厳を守り、人々が有する平和と健康に生きる権利について看護を通して実現することである。さらに、高度な実践知を基盤として、自立した研究活動と研究指導ができる研究者、質の高い看護学の教育ができる教育者、知的複眼思考・論理的思考に基づき発展的に看護を実践できる人材を育成できるような教育を行うことを目指す。

### 教育目標

- 研究者として、自立して研究活動を行うために必要な高度の研究能力を養う。
- 知的な教養と柔軟性、先見性を兼ね備え、質の高い看護学の教育を行うための教育開発能力、教育能力、課題解決能力を養う。
- 臨床看護実践や教育の場において、リーダーとして活動するための俯瞰力と指導・調整力を養う。
- 国内外の保健・医療・福祉の分野で広く活躍できる能力を養う。

## 教員紹介

本田 多美枝教授

0940-35-7037

t-honda@jrckicn.ac.jp

キャリア各期の特性に応じた人材開発の方法、リフレクションを活用した看護職の実践力開発の方法論、熟達化に関する看護モデル開発に焦点を当てた研究指導を行います。



高橋 清美教授

0940-35-7502

k-takahashi@jrckicn.ac.jp

摂食嚥下機能への支援に関する研究、地域におけるメンタルヘルスに関する課題に焦点をあてた研究指導を行います。



## 3年間の教育・研究スケジュール

※長期履修制度あり

	1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	3年次
前期	4月 入学式 ガイダンス 主研究指導教員決定	ガイダンス 前期授業開始 研究計画書 提出④	ガイダンス 前期授業開始 研究計画書 提出④	10月 後期授業開始 合同研究ゼミナール 副研究指導教員決定	後期授業開始	後期授業開始
	5月 合同ガイダンス 前期授業開始		博士論文・審査願 提出① (4年目以降の大学院生)	11月		博士論文・審査願 提出②
	6月	研究計画書 提出①	博士論文 提出① (4年目以降の大学院生)	後期 12月		博士論文 提出②
	7月 前期授業終了	前期授業終了	前期授業終了	1月 後期授業終了	後期授業終了	後期授業終了
	8月			2月 研究計画書 提出③		
	9月	研究計画書 提出②		3月		博士論文発表会 学位記授与式

## 共同看護学専攻（博士課程）の教育理念等

### 求める人材

- 保健・医療・福祉の専門知識を有し、さらに深く追求する意欲のある人
- 常に探究心をもち、赤十字の看護活動を担う意欲のある人
- 自らの活動範囲を拡げ、看護を発展させる意欲のある人
- さまざまな分野の専門家とともに、独創的な研究を志す人
- 社会での実践から得た知識と経験を体系化し変革する意欲のある人
- 国際的な視座で、国内外へ向けて広く成果を発信する意欲のある人
- 真摯に学び、高い論理性と豊かな人間性をもつ指導者を志す人

### 養成する人材

- 質の高い看護学の教育および研究指導ができ、それぞれの地域で活躍する人材
- 自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力および基礎となる豊かな学識を備え、看護学分野の研究をリードでき、それぞれの地域の看護研究・看護教育のリーダーとなる人材
- 医療施設等の臨床において看護の質を管理し、継続教育を実践でき、それぞれの地域の看護実践・看護教育のリーダーとなる人材
- 看護実践に対する理論の構築、看護方法論の開発・創造ができ、看護実践のリーダーとなる人材
- 国内外の保健・医療・福祉の分野で創造的な活動ができ、それぞれの地域で保健・医療・福祉分野のリーダーとなる人材
- 未知なる健康課題の発生に対して迅速・的確に対応し、その成果を社会に還元できる人材
- 国内外における災害救護・災害看護を実践するための有用な理論構築ができ、国内外で人道的任務を果たせる人材

### 学位

## 博士(看護学)

出願を希望する方は、出願前に研究指導を希望する教員と面談し、入学後の研究・学修活動について相談を行う必要があります。  
まず、事前面談の予約を行なう必要がありますので、研究指導を希望する教員までご連絡ください。

姫野 深子教授

0940-35-7026

t-himeno@jrckicn.ac.jp

老年期にある対象者の倫理的問題、看護介入の効果の測定ならびに看護介入モデルの開発に関する研究指導を行います。



永松 美雪教授

0940-35-7072

m-nagamatsu@jrckicn.ac.jp

リプロダクティブ・ヘルス/ライフの課題に関する要因の分析や予防モデルの開発に焦点を当てた研究指導を行います。



# 大学院でのサポート体制

## 教育方法

本共同看護学専攻では、対面での集合教育および個人指導の教育方法に加えて、日本赤十字学園専用のひかり回線で結ぶ遠隔教育システムを活用した特徴的な教育方法を用います。同システムの品質の高い映像・音声によって、通常の対面授業とほぼ同様なリアルタイムの双方向授業が5大学間で可能となります。学生の皆さんに、5大学の強みを活かした教育の場を設定するとともに、移動にかかる身体的・経済的な負担を軽減できるように努めています。

また、社会人学生の受け入れに関しては、長期履修制度を設けたり、夜間開講などの時間割の配慮を行います。

## 遠隔授業のイメージ

日本赤十字学園専用の遠隔教育システム（ハイビジョン画像・高音質・双方向・リアルタイム）で、5大学の担当教員から同時に多様な教育・研究指導を受けられます。例えば、九州に在籍していても、遠隔授業で北海道の講義を受けることができます。もちろん、直接、北海道で受講することも可能です。



## 長期履修制度

職業を有しているなどの事情で標準の修業年限（3年）では修了することが困難となる者を対象に、長期（4年）にわたり計画的に教育課程の履修を認める制度です。その場合は、授業料等の支払い方法が変更になります。

詳細は大学院学生募集要項をご参照ください。

## 教育方法の特例

共同看護学専攻では、実務経験を有する有識者などの社会人を受け入れる場合の教育上の配慮として、大学院設置基準第14条(教育方法の特例)による教育を実施しています。適用が認められた場合には、以下の①～③の履修指導及び研究指導の方法を実施することができます。適用を希望する者は、事前面接の際に、研究指導を希望する教員に申し出てください。

- ① 授業は、基本的に夜間及び土曜日に開講します。長期休業期間などに開講し、単位修得のための便宜を図ります。
- ② 研究指導及び論文作成指導も上記と同様に便宜を図ります。必要に応じ、多様なメディアを利用して指導します。
- ③ 授業科目、履修方法、履修指導、研究指導、修了要件等は、一般学生と同様です。履修計画の指導にあたり、講義・演習・研究指導等については、必要な場合、集中的に開講します。

## 教育課程等の概要

科目区分	授業科目的名称	配当年次	開設大学	単位数			授業形態	
				必修	選択	自由	講義	演習
共通科目	看護理論	1・2前	日本赤十字豊田看護大学	1		○		
	赤十字人道援助論	1・2後	日本赤十字秋田看護大学	1		○		
	科学的研究方法論I (実験研究)	1・2前	日本赤十字北海道看護大学 日本赤十字九州国際看護大学	1		○		
	科学的研究方法論II (臨床介入研究)	1・2後	日本赤十字北海道看護大学	1		○		
	科学的研究方法論III (尺度開発)	1・2前	日本赤十字北海道看護大学	1		○		
	科学的研究方法論IV (質的研究)	1・2後	日本赤十字北海道看護大学 日本赤十字秋田看護大学	1		○		
	科学的研究方法論V (文化人類学的研究)	1・2前	日本赤十字九州国際看護大学	1		○		
	科学的研究方法論VI (理論構築)	1・2後	日本赤十字北海道看護大学	1		○		
	臨床倫理論	1・2後	日本赤十字九州国際看護大学 日本赤十字北海道看護大学	1		○		
小計(9科目)		—		0	9	0	—	
専門科目	看護人材開発特論	1・2前	日本赤十字九州国際看護大学 日本赤十字豊田看護大学	2		○		
	実践看護学特論	1・2前	日本赤十字広島看護大学	2		○		
	療養生活看護学特論	1・2前	日本赤十字北海道看護大学 日本赤十字秋田看護大学 日本赤十字九州国際看護大学	2		○		
	生涯発達看護学特論	1・2前	日本赤十字豊田看護大学 日本赤十字秋田看護大学 日本赤十字九州国際看護大学	2		○		
	広域連携看護学特論	1・2前	—	2		○		
	災害救護特論	1・2前	日本赤十字広島看護大学	2		○		
	健康科学特論	1・2前	日本赤十字北海道看護大学	2		○		
演習	小計(7科目)	—		0	14	0	—	
合同研究ゼミナー	看護学演習	1通	日本赤十字北海道看護大学 日本赤十字秋田看護大学 日本赤十字豊田看護大学 日本赤十字広島看護大学 日本赤十字九州国際看護大学	2			○	
	小計(1科目)	—		2	0	0	—	
特別研究	合同研究ゼミナー	1後	日本赤十字北海道看護大学 日本赤十字秋田看護大学 日本赤十字豊田看護大学 日本赤十字広島看護大学 日本赤十字九州国際看護大学	1			○	
	小計(1科目)	—		1	0	0	—	
特別研究	特別研究	2~3通	日本赤十字北海道看護大学 日本赤十字秋田看護大学 日本赤十字豊田看護大学 日本赤十字広島看護大学 日本赤十字九州国際看護大学	8			○	
	小計(1科目)	—		8	0	0	—	
合計 (19科目)				11	23	0	—	

標準課程修了までの履修の流れ								
<b>1年次</b>								
● 共通科目※2科目2単位以上(選択) 看護理論 赤十字人道援助論 臨床倫理論 科学的研究方法論I(実験研究) 科学的研究方法論II(臨床介入研究) 科学的研究方法論III(尺度開発) 科学的研究方法論IV(質的研究) 科学的研究方法論V(文化人類学的研究) 科学的研究方法論VI(理論構築)								
<b>2・3年次</b>								
● 専門科目※1科目2単位以上(選択) 看護人材開発特論 実践看護学特論 療養生活看護学特論 生涯発達看護学特論 広域連携看護学特論 災害救護特論 健康科学特論 ● 演習※必修2単位 看護学演習 ● 合同研究ゼミナー※必修1単位								
<b>博士学位論文の研究発表会</b>								
<b>修了要件</b>								
標準修業年限(3年)以上在学し、次の所定単位を修得するとともに、必要な研究指導を受け、かつ博士学位論文を提出し、博士学位論文審査と最終試験に合格しなければならない。								
以下の①から⑤を満たし15単位以上								
①共通科目のいずれか2科目2単位以上 ②専門科目から1科目2単位以上 ③「看護学演習」を2単位 ④「合同研究ゼミナー」を1単位 ⑤「特別研究」を8単位								

## 大学院で学ぶこと～修了生のコメント～



東 優里子  
2019年3月 修了  
看護コース 基盤看護（看護教育）

### 学び直しの場

修士課程で学んだ3年間は、私の人生に衝撃を与えた時間でした。修士課程に入學する以前の私は、仕事中心の生活を送っていました。そのため「何となく勉強してみたい」という気持ちだけで入学した大学院では、当然ながら苦しい思いを味わい、何度も入学したことを後悔しました。しかしながら学修を積み重ね、研究結果が理論や根拠に基づいて表れた時に、社会人として学び直す意義や研究の面白さを感じることができました。修士課程で

学ぶ意義を見出すことは、容易なことではなく、時間を要しましたが、修了をした現在は先を見据えた人生の目標を見つけることができました。そして未熟な自分を成長させる場や自分を支えてくれる人や環境が存在することに気付き、努力し続ける姿勢を保ちたいと思うようになりました。



中平 紗貴子  
2019年3月 修了  
看護コース 基盤看護（看護教育）

### 学びたい時が学ぶとき

大学院への進学のきっかけは、教員として学生と関わる中で、主体的学習とは何かという疑問をもつたことでした。入学当初、漠然とした疑問の焦点化に悩みました。しかし、文献検討し、議論し、悩んだ結果、見つかった時には「これだ！」と声を大にして興奮したことを覚えています。そして、ここまで何度も思考する過程が大学院での学びであり、自らの学習経験であったと思います。大学院は、自分と向き合い、考え方の多様性を学び、言語化すること

が求められます。仕事、子育て、家庭そして大学院、履くわらじは増えましたが、周りの協力もあってこそ得られた大変有難い時間でした。学びたい時が学ぶときです。



今泉 香織  
2019年3月 修了  
CNSコース クリティカルケア看護

### 直面していた看護問題の解決に向けて

私は、救急看護認定看護師として救急外来やICUで勤務していました。その中で、患者や家族、医療者間に生じるジレンマなど、様々な倫理的問題や職種間連携の問題に直面していました。これらに対し、病院全体を横断し継続した看護の提供、病院前を含む多機関や多職種との連携や調整の必要性を感じ、大学院進学を決意しました。

卒業後は再び臨床現場に戻り、大学院での学びを活かし多職種間で連携しながら、患者や家族の意思を尊重した看護実践に取り組み、急性重症患者看護専門看護師の資格取得を目指しています。



矢野 真理  
2019年3月 修了  
共同看護学専攻（博士課程）

### 人生において大変貴重な宝物

私が博士課程に進学したきっかけは、現在の超高齢社会を背景に課題とされているエンド・オブ・ライフケアにおける超高齢者の療養場所選択について、急性期病院の熟練看護師が行う意思決定支援の実践知を明らかにし構造化したいと考えたからです。博士課程では、修士課程以上に知的複眼思考・論理的思考を求められるため、道のりは簡単なものではありませんでした。しかし、博士号取得まで辿り着けたのは、本学や5大学の多様な知識を持つ先生方から多くのご指導を頂

く機会があったこと、また、学友の様々な領域の経験を共有することが出来たからだと思います。この様な時間は、人生において大変貴重な宝物となりました。

今後の目標は、この研究結果を看護教育機関もしくは臨床現場において活用し、一人でも多くの超高齢者が尊厳ある終焉を迎えるよう、看護師教育に貢献することです。皆さんも是非、共同看護学専攻 博士課程に進学し、有意義な時間を過ごしていただければと思います。

## 大学院で学ぶこと～在校生のコメント～



### 大学院での学び

下鶴 菜保  
助産教育コース  
助産教育



私は、本学の学部を卒業後、同大学院へと進学しています。大学院に入學してからは、プレゼン形式の授業で使用する資料の作成や討論、様々な領域からの多重課題に追われ、一つ一つをこなしていくことに精一杯でした。しかし、慣れ親しんだ環境であることや、同じ助産師を目指す仲間と支えあいながら、助産領域では専門的な知識や技術を、講義や演習を通して、助産師として対象者に安全な助産ケアを提供できるように学ぶことができています。また、本大学院では、同じ領域だけでなく他の領域の先生方や、年代の異なる院生たちと授業を通してプレゼンや討論を行うことが多く、共に学ぶ院生の様々な意見や幅広い知識、経験に触れることができ、多くの刺激を受けながら視野を広げ、自己の学びを深めることができます。



### 学びは自分次第

平野 靖美  
看護コース  
基盤看護（看護教育）

私は、看護専門学校を卒業後、病院や学校で勤務して大学院に入学しました。現在、長期履修制度を利用しています。大学院の先生方や勤務先の方々、家族の力を借りて大学院で学ぶことに日々感謝しています。

大学院に入学して、環境の変化に戸惑い、自分の未熟さや視野の狭さに落ち込むこともありました。大学院の授業やゼミを通して、志の高い仲間と共にディスカッションやプレゼンテーションを重ね、新しい知識や考え方方に触れて刺激を受けています。今までの経験、これまでの経験を学びに繋げることは自分次第であることを実感しています。大学院は、自分を振り返り、新しい自分を発見できる“場”であると考えています。



### 大学院で学ぶこと

大上 桃花  
助産教育コース  
助産教育



本学の学部を卒業後、同大学院へ進学して2年目になりました。

本大学院での授業では、討論、プレゼンテーションの中で臨床や社会人を経験した多領域の院生の思考に触れることで、それまでの自分自身を振り返る機会となり、また自身の思考について相手にアサーティブに発信していく能力を養うことが出来ています。研究については、総合研究指導体制のもと、自分自身の研究領域だけではなく様々な分野の先生方からご指導を頂くことで、より研究の中に専門性を見出すことが出来ることが本大学院の魅力の一つだと感じています。1年次の専門強化実習では、自分自身の興味のあるテーマに即した施設で実習をさせて頂き、研究分野のテーマの焦点化やリサーチエクスプローラーを具体的に見出すきっかけとなりました。

今後も、他の院生との関わりの中で様々な刺激を受けながら、日々新しい気づきや学びを得ることが出来るように奮闘努力していきたいと考えております。



### INFO 01 科目等履修生

本学の学生以外の方（本学卒業生を含む）が、本学（大学院）が開講している授業科目（一部の科目を除く）を当該年度に限り履修する制度です。履修した授業科目の試験に合格すると、10単位を上限に、単位が与えられます。科目等履修生になるためには所定の選考を経て、入学が許可されます。

※詳細はHPにてご確認願います。



### INFO 03 入試相談会

2019年度実施日

第1回  
7/14 [SUN.]

第2回  
9/14 [SAT.]



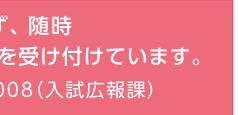
オープンキャンパスでは、入試相談会を実施します。本学大学院に関する質問に對し、個別で相談に応じます。



### INFO 02 お試し受講

本学の学生以外の方（本学卒業生を含む）が、本学（大学院）が開講している授業科目（一部の科目を除く）を体験受講する制度です。希望する専攻領域の講義をお試し受講してみませんか？

※入試広報課までお問い合わせくださいか、HPにてご確認願います。



オープンキャンパスに限らず、隨時大学院入試等に関する相談を受け付けています。  
問い合わせ先：0940-35-7008（入試広報課）



**修士課程 大学院生室**



### 大学院専用フロア!

大学院講義室・研究室は、使いやすい専用フロアを設けました。明るく広い研究室は、一人ひとりが研究活動に専念できるように、専用のデスク・パソコンを完備、十分な収納スペースが確保されています。



**講義室A**



**コミュニケーションスペース**



**博士課程 大学院生室**



# 施設紹介

## 図書館

専門知識の修得や最新情報の入手をサポートする図書館。大学正面のゲート棟に位置し、約6万2千冊が所蔵可能な、明るく機能的なスペースです。

医療・看護系の図書は約6割を占め、専門の知識を深く探求することができます。

赤十字に関連した図書および報告書を備えた赤十字コーナーや、災害看護・人道科学関連の図書を備えた特別コレクションコーナーのほか、看護の周辺分野である社会科学や心理学等の図書も充実しています。

新着図書コーナーでは、新しく受け入れた図書や学内行事に関連した図書を展示しています。

館内には20台のパソコンを備えており、すべてインターネットに接続しています。視聴覚機器も備え、機能面での充実を図っています。



**授業風景**



**実習室**



**ラーニング・コモンズ**



**オーバルホール**



**アスティショップ**



**レストランアスティ**

## 看護学専攻(修士課程)

### 入学者募集詳細

**募集定員 10名**

**取得学位 修士(看護学)または修士(保健学)**

**修業年数 2年** (長期履修課程の場合は3年)

### 募集専攻領域

コース「学位」	専攻領域(分野)
①保健コース「修士(保健学)」	国際保健(災害・国際協力、ヘルスプロモーション) 生涯発達看護(成育看護、成人看護(慢性)、老年看護)
②看護コース「修士(看護学)」	広域看護(クリティカルケア、メンタルヘルスケア、在宅ケア) 基盤看護(看護管理、看護教育、看護倫理)
③CNSコース「修士(看護学)」	クリティカルケア看護、在宅看護
④助産教育コース「修士(看護学)」	助産教育

### 入学試験概要

試験区分	I期		II期			
出願期間	2019年8月1日(木)～8月9日(金)※当日消印有効		2019年12月19日(木)～2020年1月6日(月)※当日消印有効			
試験日	2019年9月7日(土)		2020年1月25日(土)			
試験場所	日本赤十字九州国際看護大学(福岡県宗像市アステイ1丁目1番地)					
選抜方法	学力検査・面接、および書類審査等を総合して行います。					
出願資格	※各入試(一般入試・社会人入試・社会人推薦入試)方法により異なります。詳細は大学院募集要項をご参照ください。					
合格発表	2019年9月13日(金)	2020年1月31日(金)				
入学申込手続期間	2019年9月17日(火)～9月27日(金)	2020年2月3日(月)～2月14日(金)				
入学手続締切日	2020年3月6日(金)					
入学検定料	30,000円					

### 授業料

種類	金額					摘要	
	標準課程		長期履修課程				
	1年目	2年目	1年目	2年目	3年目		
入学金	300,000円		300,000円			入学金の免除制度あり※	
授業料	800,000円	800,000円	800,000円	400,000円	400,000円	年額 前期4月中 後期10月中 ※1年目前期は3月中	
維持運営費	200,000円	200,000円	200,000円	100,000円	100,000円	年額 前期4月中 後期10月中 ※1年目前期は3月中	
実験実習費(助産教育・CNS)	200,000円	200,000円	200,000円	100,000円	100,000円	年額 前期4月中 後期10月中 ※1年目前期は3月中	

※入学金免除制度の詳細は、大学院募集要項をご参照ください。

## 奨学金(修士課程・博士課程)

① 日本赤十字九州国際看護大学上田奨学金 1名上限100万円\*

② 一般財団法人 日本赤十字社看護師同友会奨学資金 総額100万円

③ 独立行政法人 日本学生支援機構奨学金 第一種・第二種

奨学金は、人物・学業ともに優秀な学生が、経済的理由により就学が困難と認められる場合に、学資として貸与または給付される制度です。本学で現在取り扱っている奨学金は次のとおりです。

\*日本赤十字九州国際看護大学上田奨学金は3名以内。希望者複数の場合、貸与額調整。

## 共同看護学専攻(博士課程)

### 入学者募集詳細

**募集定員 2名**

**取得学位 博士(看護学)**

**修業年数 3年** (長期履修課程の場合は4年)



### 入学試験概要

試験区分	I期		II期			
出願期間	2019年8月1日(木)～8月9日(金)※当日消印有効		2019年12月19日(木)～2020年1月6日(月)※当日消印有効			
試験日	2019年9月7日(土)		2020年1月25日(土)			
試験場所	日本赤十字九州国際看護大学(福岡県宗像市アステイ1丁目1番地)					
選抜方法	学力検査・面接、および書類審査等を総合して行います。					
出願資格	※修士の学位を有していないなくても出願資格の審査を受け認定されれば受験できます。詳細は大学院募集要項をご参照ください。					
合格発表	2019年9月13日(金)		2020年1月31日(金)			
入学申込手続期間	2019年9月17日(火)～9月27日(金)		2020年2月3日(月)～2月14日(金)			
入学手続締切日	2020年3月6日(金)					
入学検定料	30,000円					

### 授業料

種類	金額							摘要	
	標準課程			長期履修課程					
	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目	4年目		
入学金	400,000円			400,000円				入学申込手続時※	
授業料	800,000円	800,000円	800,000円	600,000円	600,000円	600,000円	600,000円	年額 前期4月中 後期10月中	
維持運営費	300,000円	300,000円	300,000円	180,000円	240,000円	240,000円	240,000円	年額 前期4月中 後期10月中	

\*日本赤十字学園の赤十字6看護大学卒業生・修了生は入学金が免除されます。

④ 国際看護師協会東京大会記念奨学金 年間180万円以内

⑤ 高橋美智大学院教育(看護管理)奨学金 総額60万円※給付

⑥ 小倉一春大学院教育(国際看護)奨学金 年間60万円※給付

⑦ 総合病院山口赤十字病院奨学金

年間60万円

○応募には、いろいろな応募資格や条件があります。詳細は学務課に確認してください。